

【JA鹿本自己改革取組宣言】

これまでも、これからも、地域とともに
JA鹿本は総合事業(営農・購買・信用・共済・その他)を展開します。

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組みます。
このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織で
あり続けます。

協同組合とは組合員の一人ひとりが力をあわせ、
みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者(正組合員)が組織する協同組合です。

農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、営農指導や販売、信用、共済、購買など、様々な事業を展開し、農業の振興と地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。信用や共済事業

などを含めた総合事業全体のなかで運営しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設等投資が可能です。

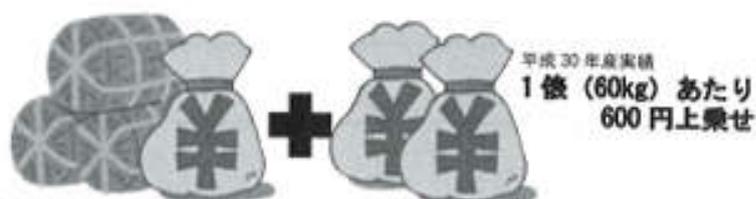
いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業と暮らし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。



鹿本農業協同組合は、以下のような自己改革の取り組みをすすめています。

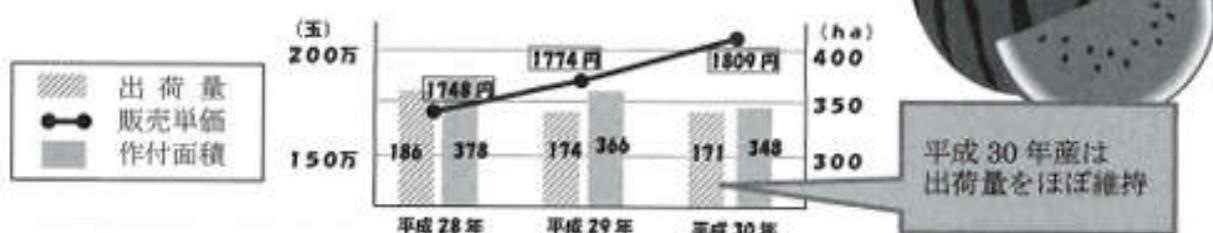
米概算金の独自上乗せ

県連合会の米概算金に加え、JA鹿本独自の上乗せを実施しています。



瓜類奨励対策

春夏大玉スイカ作付面積、出荷量の維持拡大に向けた奨励対策を園芸部会と協力し実施しています。



生産資材等利用拡大奨励対策

肥料、飼料、農薬、生産資材、営農用重油等を購入する組合員・利用者に対してスケールメリットによる還元を行っています。



新規就農者の育成・支援

地域担い手育成センターで新規就農者の育成を独自に行っています。

研修生は一年間、圃場実習と座学を学び就農します。また、就農後は関係機関と連携を取りながら支援も行っていきます。



この他にも様々な取り組みを実践しています。

JA鹿本は今後も総合事業を展開し、地域に必要とされるJAを目指します。